

森下さち子議員の一般質問

森下市議は、現在市内にある公立の保育所21、幼稚園13を統廃合して認定こども園にする計画について、寄せられたパブリックコメントがわずか11件、説明会への参加は「少数」と報告し、広域に



なり送迎に時間がかかることについては「近くの民間保育園等への入園の案内や相談に応じる」としました。

ダイオキシン問題で稼働が休止し焼却炉解体が20年近く放置されてきた岡崎地区のごみ焼却場が急に解体されようとしている問題で、高校や住宅が隣接する場所なのにダイオキシンやアスベストは大丈夫かなど市民から疑問と不安の声が出ていると指摘。工事概要や進ちょく状況を全戸に知らせるなど周知の徹底を求めました。市民環境局長は「地元住民に知らせることは重要なことだ」と答弁しました。

子ども総合支援センターの移転計画では、閉校になる本町小学校の校舎利用計画案が「まちなか3大学構想」によって先行き不透明という子どもたち置き去りの状況を露呈しました。



「あたらしい憲法のはなし」

⑧

四 主権在民主義

みなさんがあつまって、だれがいちばんえらいかをきめて「国民の権利をいかに守るか」といふことが、憲法の重要な役割です。憲法は、国民の権利を守るために、国家の権力を制限し、国民の自由を保障する役割を果たします。憲法は、国民の権利を守るために、国家の権力を制限し、国民の自由を保障する役割を果たします。

主権在民主義とは、国民が国家の主権を行使することです。これは、国家の権力を国民に委ね、国民の自由を保障することを意味します。憲法は、国民の権利を守るために、国家の権力を制限し、国民の自由を保障する役割を果たします。憲法は、国民の権利を守るために、国家の権力を制限し、国民の自由を保障する役割を果たします。

いのけん講座

安倍政権は「新三本の矢」実現を目的とする「1億総活躍プラン」を打ち出しましたが、一方、政府主導の労働政策をすすめるために「働き方改革実現会議」の構成メンバーや運営方針の決定、「公平」「選択」を口実に医療・介護制度の一層の改悪などをすすめています。今こそ、人間らしく働ける職場づくりのための運動が求められています。ぜひご参加ください。

「1億総活躍社会」と「はたらき方改革」

10月5日(水) 18:30 開演

新橋ビル8階会議室

講師: 友寄 英氏 (経済学者)

主催: 働くもののいのちと健康を守る和歌山県センター